

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 産業教育・キャリア教育担当
 内線: 6762 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B21	高校生の「農力」育成強化プロジェクト			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	産業教育振興法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0504	質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-4
1 事業概要 農業を学ぶ高校生の就農・就業意欲を喚起し、経営感覚や国際感覚、チャレンジ精神を持った農業経営者等となり得る人材を地域に輩出する。 (1) 就農意欲を高める農業教育事業 △5,721千円 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額 国の補助金要項改正に伴う財源更正 (2) 地域特産品開発拠点整備事業 △5千円 予算の節減による減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 就農意欲を高める農業教育推進事業 19,556千円 (ア) G A P実践・認証・食材提供 農業高校8校においてG A Pの実践・G A P認証の取得に取り組む。 (イ) 農業教育高度化事業 今後、国内の就農者の担い手となる人材を育成するために、農業大学校と連携し、一貫性のある教育プログラムを通じた、時勢に対応した機器研修等を実施し、県内農業高校全体として就農意欲を高める教育指導により農業大学校への進学者数を経ての、将来の就農人材の育成を目指す。 イ 地域特産品開発拠点整備事業 2,183千円 (イ) 第3のみつ 秩父農工科学高校で、埼玉大学等と共同で特許を持つ「第3のみつ」について、実際に地域の養蜂家が使えるようにするため新たな製造技術の開発等に取り組む。 (イ) タマシャモ商品開発等 川越総合高校で、県産唯一の地鶏「彩の国地鶏タマシャモ」を活用し、県内普及の広報・発信にも寄与するような地域活性化のための商品開発に取り組む。 (2) 事業計画 ア 農業教育高度化事業 (ア) G A P実践 (S-GAP) 農業高校8校 (イ) 農業教育高度化事業 江南支所・熊谷農業にて、就農意欲を高め将来の就農の担い手育成のため、農業大学校と連携の元、時勢に沿った設備機器や専門外部講師による質の高い指導により一貫した農業教育の実践を図る。 イ 地域特産品開発拠点整備事業 「第3のみつ」の製造技術開発・地域特産品の開発販売等(H30～R4) タマシャモ商品開発・地域販売等 (R2～R6) (3) 事業効果 ア 農業高校の魅力向上 イ 経営感覚・国際感覚・チャレンジ精神を兼ね備えた将来の農業の担い手となる人材の育成 ウ 農業高校による地域への貢献 (県産農産物の魅力発信・地域の特産品の開発等) (4) 補正予算の概要 予算の節減及び見込みを下回ったことによる減額					
2 事業主体及び負担区分 ア(イ) 農業人材力強化総合支援事業費補助金 (国10/10、国1/2) ア(ア) 及びイ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入						
決定額	△5,726	△10,215	7,146					△2,657	16,013
現計額	21,739	10,215						11,524	

事業内訳書

事業名	高校生の「農力」育成強化プロジェクト		
単位事業名	就農意欲促進事業	予算額	△ 5,721千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△510	—	講師謝金が当初の見込みを下回ったことによる減
需用費	△124	—	消耗品費の節約による減
備品購入費	△5,087	—	仕様の見直し及び入札差金による備品購入費の減
合計	△5,721	—	

単位事業名	地域特産品開発拠点整備事業	予算額	△ 5千円
-------	---------------	-----	-------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△5	—	旅費の節約による減
合計	△5	—	